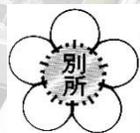


# 令和6年度 研究紀要



# さいたま市立大宮別所小学校

2024 大宮別所小

## 令和5年度の研究

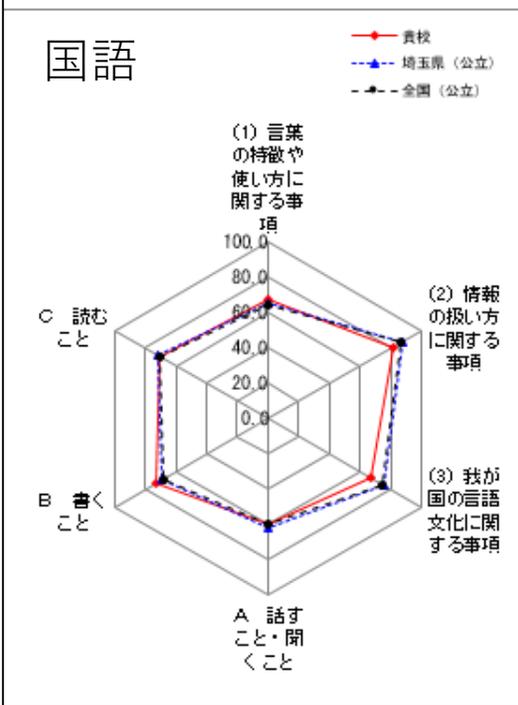
「主体的・対話的で深い学び」を目指し、  
「個別最適な学び・協働的な学びの一体的な充実」



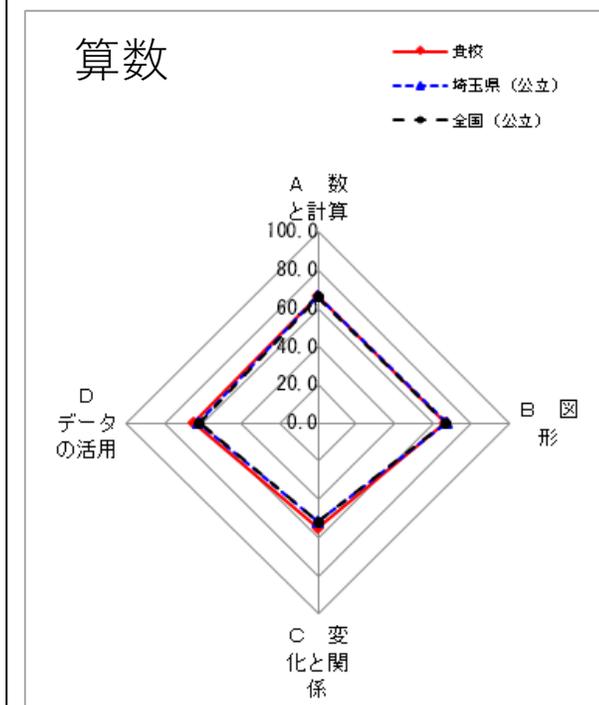
主体的に学ぶようになり、児童に変容が見られた。



<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



【学力について（全国学力・学習状況調査の分析より）】

- ・国語は全国平均と同等。
- ・算数は全国平均より1ポイント高い。
- ・算数の「知識・技能」や「変化と関係」の領域においては、2年連続で全国平均以下。



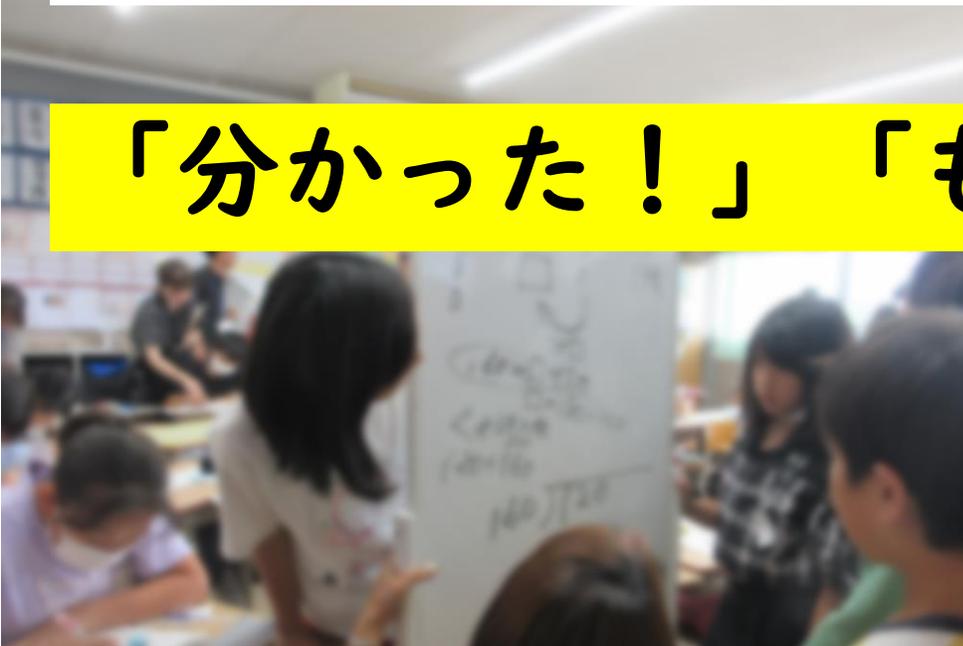
基礎学力の向上が課題

## 【目標】



教育データを活用し、児童の学習意欲や確かな学力の育成に向けた、授業改善・指導力向上を図る。

「分かった！」 「もっとやりたい！」 子の育成



# 研究構想図

学校教育目標 夢と希望をもち 豊かな心でたくましく生きる子の育成

**研究主題** 教育データを活用し、「分かった」「もっとやりたい」子の育成を目指した指導と評価の工夫

## 授業の改善

主体的・対話的で深い学びとなる  
指導と評価の充実

<手だて>

- ・学習の見通しをもったり自分の考えをもったりし、主体的に取り組めるようにするための工夫
- ・対話的な学びとなるための工夫
- ・深い学びとなるための工夫
- ・個別最適な学び・協働的な学びとなるための工夫
- ・書く力を高めるための工夫

## 保護者との連携

個人面談・日頃の連携で活用

## 環境の整備

- ・タブレット使用上のルール制定
- ・ICTスキル指導のめやす設定
- ・活用できる教育アプリの検討 等

きめ細かな  
指導・支援

実態の  
把握

児童一人ひとりの状況の把握(学習・生活)

学級・学年・学校全体の状況の把握

<教育データ>

- ア) スクールダッシュボード
- ウ) 全国学力・学習状況調査
- オ) てんまる (成績処理ソフト)

教育  
データの  
分析

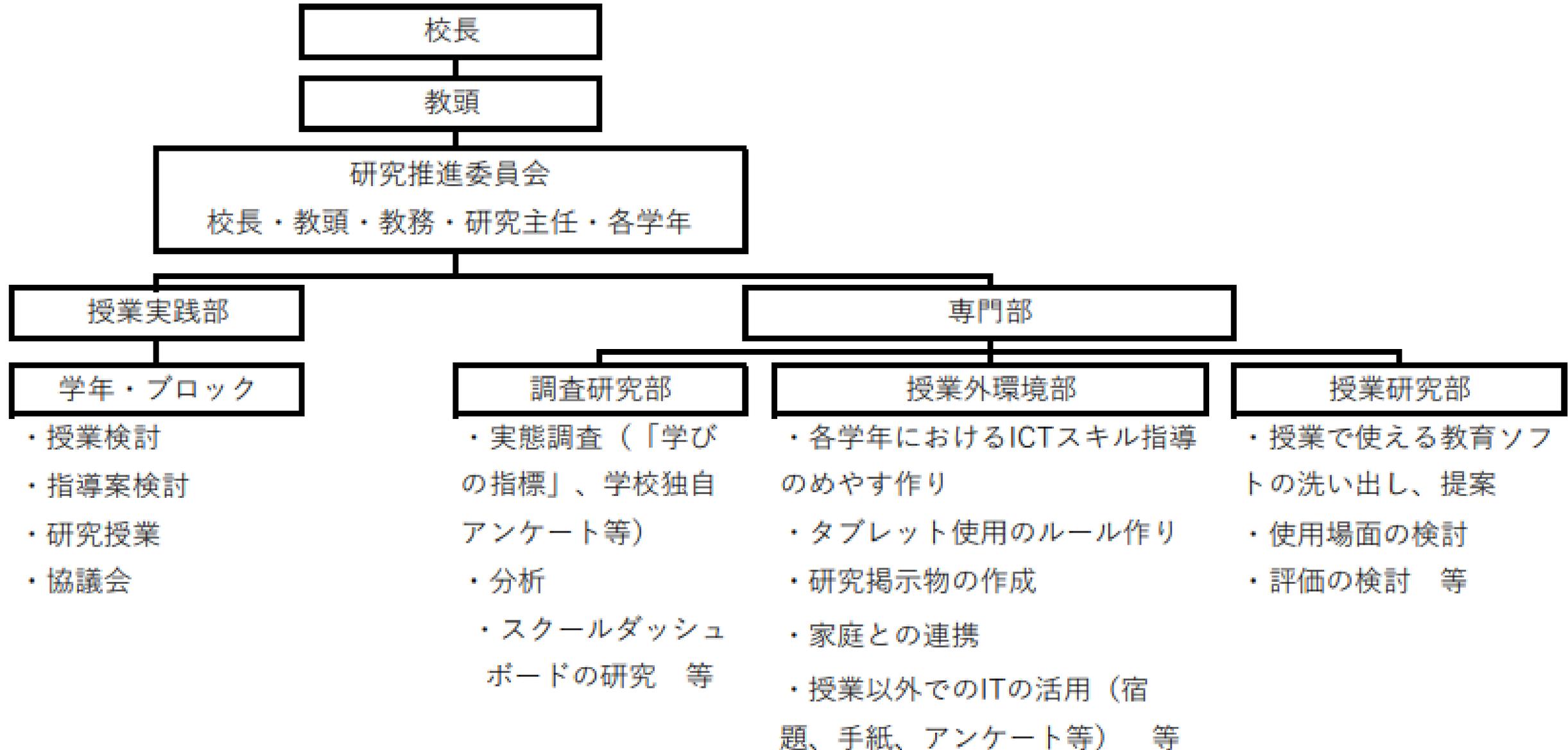
- イ) 学びの指標
- エ) さいたま市学習状況調査
- カ) プレテスト・アンケート等

児童の実態

・主体的に学ぶ児童が多い。・基礎学力の定着が課題。



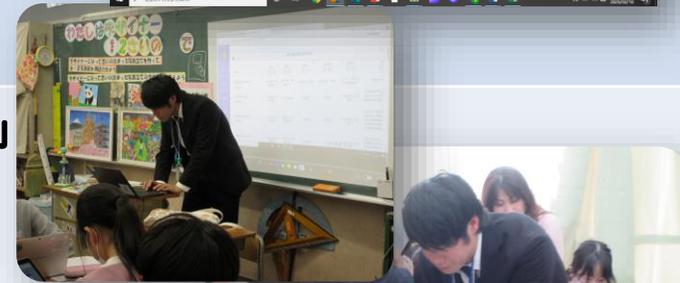
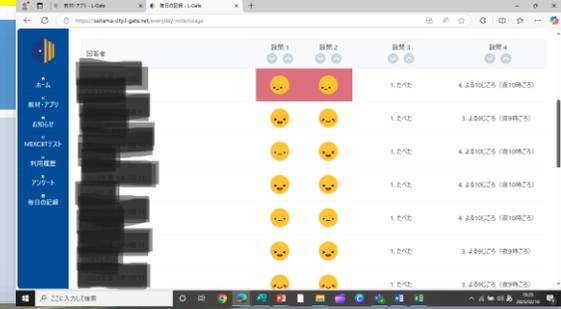
# 組織について



# 大宮別所小の取組①

## 1 アンケートの入力によるデータの蓄積と教師の見取り体制の確立

時間	児童	教師
登校後 朝の会	おはようメーターの入力	入力された情報と実際の様子を比べる 配慮する児童の把握
授業中	授業アンケートの入力 	導入時に、前回の「授業アンケート」 を活用した前時の学習の確認  終末時、「授業アンケート」を確認し、 個への声掛け、全体へのフィードバック
昼休み 帰りの会	あすなるメーターの入力	おはようメーターとの比較や ネガティブな回答をした児童を把握
放課後	放課後に学年で声を掛け合い、 毎日確認！	スクールダッシュボードで確認



## 2 教育データを活用した意図的な指導

### 第1学年3組 算数科学習指導案

令和7年1月30日(木)第5校時  
 場所 1年3組 教室  
 児童数 男子18名 女子18名 計36名  
 授業者 教諭 松山 菜々子

#### 1 単元名 おおきいかず

#### 2 単元について

##### (1) 児童について

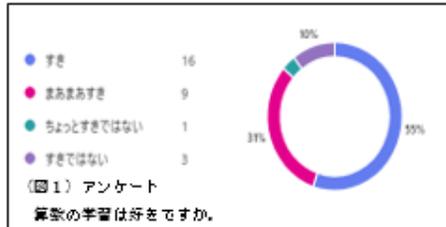
##### ① 児童の実態

本学級の児童は、意欲的に学習に取り組んでいる児童が多い。入学して約3か月が経過したが、いろいろなことを知りたいという思いが強く、新しいことを知ると嬉しそうにしている場面が多く見られる。普段の生活でも何か問題解決をしているとき、一生懸命先生に聞いたり、友達同士で解決したりしようと頑張っている。どの教科においても、解決策を出せて嬉しそうにしている児童が多いが、なぜこの解決策がよいか、自分の言葉で説明することに抵抗を感じている児童も一定数いる。また、みんなの前で発表することに抵抗感がある児童もいる。

##### ② 集積したデータから分かる児童の実態

##### (ア) 自作アンケート

2学期の最後に、児童の実態を把握するために、算数の授業についてのアンケートを実施した。その結果、算数の授業に対して「好き」「まあまあ好き」と肯定的な回答をしている児童が88%であり、「ちょっと好きではない」や「好きではない」と否定的な回答をしている児童が14%である。この結果から、算数に対して少し苦手意識が出ている児童もいるが、肯定的に考えている児童が多いことが分かった(図1)。肯定的に考えている児童の意欲が低下しないように、また否定的に考えている児童の意欲が高まるように授業を工夫していく必要があると考える。



また、学びのスタイルを自分で決めることができるように、2学期から一斉指導だけでなく、さまざまな学習スタイルを経験させてきた。そうした中で、「どの学習方法が好きか」の問いでは、教師主体の一斉指導が好きを児童は10%と少なく、友達と勉強したり、1人で解決したりしたいと考えている児童が90%と多かった(図2)。授業の様子からは、その10%の児童も、普段は友達と学習する場面が多く見られる。この結果から、友達と一緒に学ぶことで、気軽に相談し

## 授業づくりの段階で、複数のデータを分析し、児童のつまづきや課題への手立てを検討

### (ウ) 毎日の記録 授業アンケート

本学級の児童が「おおきいかず」の1時間目の授業が終わった後に行ったスクールダッシュボード「毎日の記録 授業のアンケート」の結果は以下の通りであった。

選択項目	主体性	達成	意欲
できた(楽しめた)	21人	16人	16人
だいたいできた(少し楽しめた)	3人	9人	6人
あまりできなかった(あまり楽しめではない)	2人	0人	1人
できなかった(楽しめではない)	0人	1人	3人
無回答	3人		

そこで、否定的な回答であった4名について、以下の通り手立てを講じる。

	実態	手立て
Aさん	<ul style="list-style-type: none"> <li>3項目とも否定的な回答。</li> <li>「算数が好き」と回答。</li> <li>レディネステストは全問正解。</li> <li>説明することに苦手意識あり。</li> <li>振り返りでは、「できるようになったこと」など肯定的な内容記述をしている。</li> <li>おはようメーターではほぼ毎日否定的な回答。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活に対するモチベーションが低い。ため、少しでも自信をもって取り組むことができるように、日常から肯定的な言葉かけをしていく。</li> <li>友達と説明の練習をしているときに、肯定的な言葉かけをして、自信に繋げる。</li> </ul>
Bさん	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体性、意欲で否定的な回答。</li> <li>「算数が好き」と回答。</li> <li>レディネステストで80点。</li> <li>「説明すること」は好きと回答。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2学期の内容からつまづいているので、自力解決のときに、答えを求めることが難しい場合は、具体物を活用した支援をする。説明でつまづいている場合は、解決方法を教師と一緒に示す。</li> <li>意欲の向上のため、小さな進歩でも称賛する。肯定的な言葉かけをする。</li> </ul>

## つまづきの可視化 手だての明確化

○さん	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲で否定的な回答。</li> <li>「算数が好き」と回答。</li> <li>レディネステストで55点。</li> <li>説明することは好きと回答。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2学期の内容からつまづいているので、自力解決のときに、答えを求めることが難しい場合は、具体物を活用した支援をする。説明でつまづいている場合は、解決方法を教師と一緒に示す。</li> <li>意欲の向上のため、小さな進歩でも称賛する。肯定的な言葉かけをする。</li> </ul>
◇さん	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲で否定的な回答。</li> <li>「算数が好き」と回答。</li> <li>レディネステストは全問正解。</li> <li>説明することに苦手意識あり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見通しがもてないことに不安を感じる傾向があるため、自力解決のときに心配なことはないか確認をする。</li> <li>不安を解消するため、自力解決のときに、方針を一緒に確認して、必要に応じてアドバイスや肯定的な言葉かけをする。</li> </ul>

### (エ) 学びの指標アンケートの結果

次の表は、2学期に実施した「学びの指標」から平均評価が低かった内容を抜粋したものである。

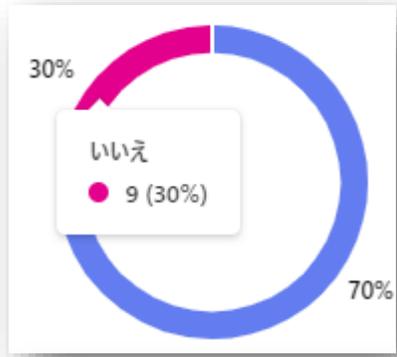
質問内容	平均評価
2 授業で学習したことを、振り返っている。	3.2
5 友だちのよいところに、気付いている。	3.1
7 自分で考えたり、発表したりするときにタブレットを使っている。	3.0

「5 ともだちのよいところに、気付いている」については、友達の学び方のよさや友達の考えのよさ、また友達と学ぶことで得られることに気付けるように、振り返りの場面で言及したり、教師が取り上げたりして称賛する。「友だちのよいところ」を知るよさも体感できるようにしていきたい。自分たちの解決方法をみんなにも知らせていくことで、友達のよいところに触れる機会をつくっていきたい。

「7 自分で考えたり、発表したりするときにタブレットを使っている」については、自力解決の場面で、オクリンクに送られたヒントカードを使えるようにしたり、考えをアップして驚きや喜びを共有できるようにして、ICTを活用していきたい。

## 6年 図工「わたしはデザイナー 12才の力で」

### 「授業アンケート」と教諭作成のアンケートを照らし合わせる



自由記述

今日は、船の細かいところを切ったり、はったりすることができました。また、色の工夫をしてみたら、きれいにできました。

細かいところを切るときにたまにちぎれてしまうので、どうしたらうまくできるのかを知りたいと思いました。

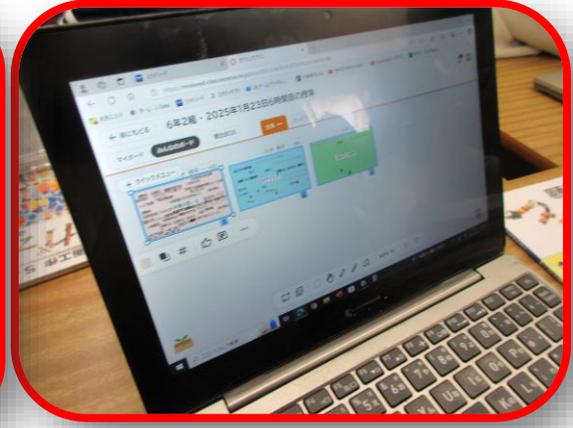
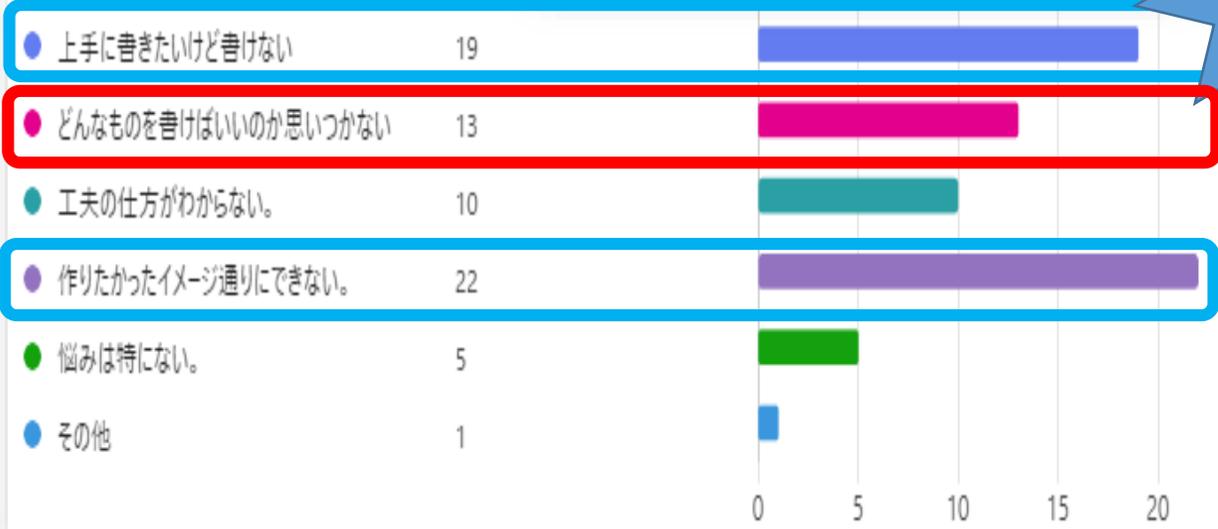
水に光が当たってつかんじを作りたいけど難しくてどう作ればいいのかわからない。

いろんな工夫を施していきたいです 悩みはないです

きょうは、テントウムシを作ったけど、色が全体同じじゃないから細かくて難しかったです。

枝の部分が手を付けてないから次には終わらせたいです

今回の学習では、シマウマを作って黒に白を足すのが難しかったです



今までの図工の学習では、何をかけばいいか迷ってあまり思った通りの作品を作ることができなかったけど、今回の授業では、すきなものや、将来の夢などを参考にデザインを考えることができました。これからの学習で、思った通りに作品を作れるようにもっと練習していきたいです。

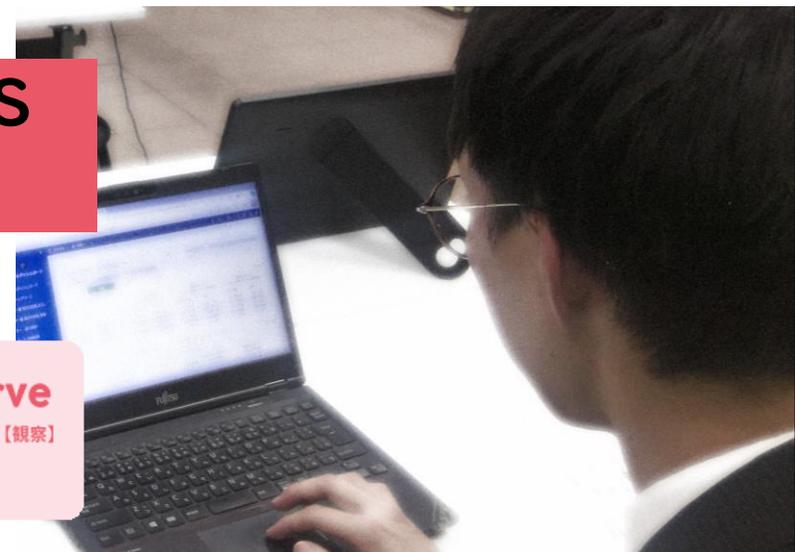
今日は、芸術は爆発だという言葉の意味を深く知ることが、できました。今のところはいいい感じだけど彫刻刀で掘ると全然うまくできなくなるのが心配です。でも頑張っていきたいです。

## 3 OODAループによる授業改善



授業実施・  
手立ての検証

つまづきやSOS  
を早期に発見



Action



【行動】

実行・仮説の検証

4

A

OODA  
ループ

1



Observe

【観察】

客観的な情報を集める



Decide



【意思決定】

意思決定を行う  
(具体策の決定など)

3

D

2



Orient

【状況に対する適応・判断】

情報を分析・  
現在の情勢を判断する

授業づくり  
(個に応じた手立ての決定)

個別最適な指導・支援が  
必要かどうかを判断

# 大宮別所小の取組④ 調査研究部

- ① 1学期と3学期に、スクールダッシュボードの活用状況について実態調査（児童・教員）
- ②分析

## 【授業アンケート】

- ・「授業の始めに頑張りたいことを決められますか？」 76%
- ・「授業の終わりに授業アンケートをすることで次の時間も頑張ろうとやる気を高めることができますか？」 76%
- ・「授業の終わりに授業アンケートをすることで、勉強したLことの理解を深めることができますか？」 81%
- ・『「自分でがんばりたいことを決められましたか」の結果を活用していますか』 3割程度
- ・『「この学習の続きは楽しみですか？」の結果を活用していますか』 3割程度
- ・「授業アンケートの自由記述覧の記述内容を活用していますか」 65%
- ・授業アンケートを活用した教科→算数が最も多く17%の教員が活用。

## 【おはよう・あすなろメーター】

- ・「おはよう・あすなろメーターの結果」活用→88%
- ・結果に対する児童へのフィードバックを受けていないと認識している児童が多い。

# 大宮別所小の取組⑤ 授業外環境部

## タブレットを使うときの約束

まずは…

- タブレットは学校が皆さんに貸している学習道具です。**  
図書館の本と同じです。ルールやマナーをしっかり守って、大切に使いましょう。
- タブレットを操作するときのルール**
  - ①**タブレットは自分のアカウント（ID、パスワード）を使いましょう。**  
自分のアカウント（ID・パスワード）は他の人には教えません。（個人情報です）  
他人のアカウント（ID・パスワード）は使えません。
  - ②**タブレット内の書き込みでは、相手（誰か）の嫌がることを書いたり、書いたりしてはいけません。**  
(例) 乱暴な言葉づかいをしない、相手（誰か）が嫌がるような噂話や悪口をいわない、など
  - ③**カメラでの撮影は相手（誰か）に撮っていいか聞いてから撮りましょう。**  
友達の写真や作品は個人情報です。  
撮った写真は、Teams等のインターネットでは絶対に、使用してはいけません。
- タブレットを管理するときのルール**
  - ④**タブレットを使わないときには、タブレットケースに入れておきましょう。**
  - ⑤**タブレットを教室の外に運ぶ時は、タブレットケースを使い運びましょう。**  
タブレットは教科書などといっしょのポケットには入れないようにしましょう。
  - ⑥**タブレットを持ち帰る時は、ケースごとランドセルに入れて持ち帰ります。**  
持ち帰った場合、翌日使用できるように充電をしましょう。  
※持ち帰りについての約束は担任の先生とよく確認しましょう。
  - ⑦**タブレットで困ったことがあったら、先生に声をかけましょう。**
- タブレットを使うときのマナー**
  - ⑧**タブレットを使わないときは触りません。**  
活動のけじめをしっかりとつけましょう。  
タブレットを使うとき 先生や友達の話 を聞くとき 別の作業をするときなど、  
タブレットを使わないときは触りません。
  - ⑨**周りの友達の状態にならないよう音聲などに気をつけて使いましょう。**

【「タブレットをつかうときのやくそく」の作成】  
・大宮別所小学校でタブレットを扱う時の約束を以下の視点で作成し、教員・児童・保護者で共有した。

- ①筆箱と同じような学習用具の一つとして普段使いきりえるようなルールを守って使用すること。
- ②情報モラルに気を付けられるような情報を扱う上で大切にしたいマナーに気を付けて扱うこと。

【「ICTを活用した授業実践事例集」の作成】  
・授業を行う上で、有効に活用できるソフトやアプリを学年教科ごとに蓄積していき、次の教員の授業に生かせるようにした。

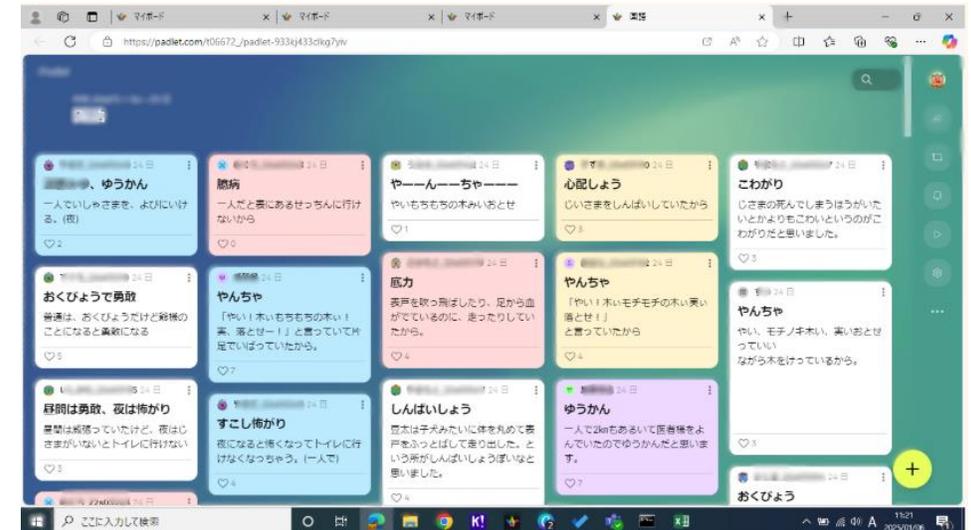
# 大宮別所小の取組⑥ 授業研究部

## ①授業で使える教育ソフトの洗い出しと提案

低学年	KAHOOT!	子どもたちの意欲が上がり、かけ算などの知識は繰り返し行うことで、身につけている児童が多い。
中学年	KAHOOT!	児童のほとんどは好きだが、わかっていることを繰り返すことに退屈を感じる児童もいた。
	PADLET	コメントがある場合は、指導の繰り返しになる。だが、自主的ではない児童の意見もすくえることができる。
高学年	オクリンクプラス	コメントは児童が関係ないことを書くこともあり、注意が必要。また、準備が大変。

## ②教育ソフトの使用場面の検討

大東小学校で使用しているシンキングサイクルの掲示物を印刷し、各クラスに配布した。



画像〇 PADLETでの国語の活用の様子

## 成果

- データを活用して授業を構想するという、大まかな流れを理解することができた。
- 授業アンケートを実施することにより、個々の児童の学習の理解度や意欲をこれまでよりも細やかに把握することができ、個々に応じた手立てを講じることができた。
- 授業アンケートの自由記述を基に、児童の悩みに対して的確にアドバイスすることができるようになった。

## 課題

- アンケートの入力に慣れてきたこともあり、入力が作業化してしまっている児童が見受けられる。自由記述の意義を児童に伝えたり、振り返りの視点を示したりしながら取り組んでいく。
- 今年度、自作アンケートで把握してきた実態を、授業アンケートを継続的に入力し、データを蓄積することで、学期や学年が変わった時の変化を見取れるようにしていく。
- 低学年でも入力できるように、意図的・計画的にタイピングスキルの向上を図っていく。
- 学年会や教科等部会において、データで児童の様子を把握する機会を設け、データを活用した授業改善や児童理解という視点を意図的・計画的に養っていく。
- 早期の実態把握と支援をさらに強化するために、おはようメーターとあすなろメーターのデータを活用した校内の支援体制を、養護教諭、生徒指導部、教育相談部等と協力して整備していく。

## 本年度、御指導くださった先生方

### <ワーキンググループ>

教職員人事課	管理係	主任管理主事	藤田 哲義 様
生徒指導課	管理係	主任指導主事	宇都宮 翔子 様
教育研究所	調査研究係	主任指導主事	白田 大地 様
教育研究所	研修係	主任指導主事	秋永 圭子 様

### <教科指導>

教育課程指導課	研究推進・振興係	主任指導主事	小林 由美子 様
		指導主事	塩原 昭彦 様
	幼・小学校教育係	主任指導主事	清水 武蔵 様
		主任指導主事	木曾 毅 様
		指導主事	持木 沙和子 様

# 本年度、研究に携わった本校職員 ◎研究主任 ○研究推進委員

校長	神田 朋恵	4年	○山崎 涼介	本部	奈良部 浩美	分須 千穂	戸澤 晶子
教頭	飯島 政範		浜木 彩菜		横山 友奏	片山 智美	フィービー 関
教務主任 理科専科	○佐藤 淳		宮田 一輝		渡部 珠美	茂津目 悦子	井澤 孝子
1年	○君島 博子	5年	宮島 明日香		鈴木 美咲	福原 佳代子	武田 厚彦
	木村 真弓		天野 紀子		小暮 千佳	伊藤 さゆり	寺田 泉
	松山 菜々子		安武 初音		神田 百栄	鈴木 深雪	根岸 俊幸
	長谷川祐美江		斎藤 勇輔		恩田 彰乃	小池 麻美	永田 博美
2年	伊東 恵	6年	◎大橋 みぎは		菅谷 未歩	長野 幸子	林 知夫
	蓑原 美幸		前田 恵子		磯田 恵美	加藤 学	浜野 冬樹
	○高田 晋太郎		小守 恭平		藤巻 理絵	辻 泰子	岩瀬 希望
3年	加藤 史帆	なの はな	丸田 梨花子		栗原 昇	梯 孝子	
	佐藤 治記		○江田 和明				
	安達 友香		折原 弘樹				
	○中村 竜馬		奈良 雅哉				
			吉田 千尋				